

令和4年度 リオデジャネイロ日本人学校 学校経営構想（グランドデザイン）



教育の目的 **子どもの幸福・人格の形成**

令和4（2022）年度 学校教育目標  
 自他の生命と人権を尊重し、ねばり強くたくましい心豊かな児童生徒を育成する

＜めざす学校の姿＞  
 ・個性を発揮できる学校  
 ・明るく楽しい学校  
 ・安心安全な居場所である学校  
 ・広く深いかわりを学べる学校

＜めざす教師の姿＞  
 ・子どもと家庭・社会に寄り添う教師  
 ・専門性を持った教師  
 ・言葉を磨き、取組み過程を賞賛できる教師  
 ・子どもの幸福を願える教師

＜めざす子どもの姿＞ **自分を磨く子**  
 ・関わって磨く（人や自然・社会と進んで関わる）  
 ・磨く方法を学ぶ（学習への意欲や方法を身につける）  
 ・磨く土台を作る（健康で安全な生活習慣を身につける）

礼儀・思いやり・親切・真面目

日本人としての意識  
 世界の一員としての意識

具体目標

自ら学ぶ意欲を持ち、ねばり強く追求できる子の育成	自己の健康に関心を持ち、すすんで体力づくりに取り組む子の育成	自他の人権を尊重し、正しく生きる子の育成	祖国（郷土）を愛する心と、国際社会に生きる自覚を持つ子の育成
◎学ぶ意欲や喜びを高めるアクティブラーニングを目指す ◎学習の過程や特別活動で、見る、聞く、話す、話し合う、読む、書くなどの活動を大切にする ◎個に応じた学習を進める・特別支援、TT、少人数、教科担当指導を推進する ◎探求的な活動の充実 ・主体的な探求を実現するため問いの連続を重視する ◎体験・校外学習の充実 ・実験、観察、見学等の内容を幅広く学ばせる ・生活科や総合的な学習の時間の内容と指導の精選改善を図る	◎健康な生活リズムの習慣化 ◎基本的な生活習慣の恒常化 ◎多様な運動と体力づくりの日常化 ◎感染性の疾病予防に配慮する ◎食育・保健学習の指導の充実 ◎防犯・防災・交通安全の推進 ・様々な想定での安全教育（避難訓練等）を実施し、児童生徒ひとり一人が自己の生命を守る正しい判断と行動ができるよう育成する	◎道徳の日常化を基にしたグローバル人材の育成 ◎児童生徒一人ひとりの心に寄り添う教育 ◎いじめ防止指導計画のもとに個々の実態に寄り添う ◎異学年異年齢交流活動の充実 ・遊びや学習、行事参加を通して、学級・学年・学校の枠を超えた学習や交流の推進 ・特別支援教育、インクルーシブ教育の推進 ◎自治的活動・表現活動の指導奨励 ・学年発達に応じ、生活の中の課題発見、表現活動の充実を目指す	◎日本文化の発信拠点として、広く日本文化に親しむ ◎本物との出会いを提供 ・読書ボランティア、各種学習講師、校外学習でのゲスト招聘 ・日本語モデル校、連邦大学学生との交流を継続深化する ◎情報機器を活用した新しい時代を生きる力の育成 ・子どものコミュニケーション力の育成と、ICTの活用スキルの育成の両立を目指す ◎国際人の育成 ・海外校の特性を最大限に活かす、国際人としての豊かな人格形成を目指す



学校経営の重点



＜学びの充実＞ 学ぶ喜びを感じられる学校づくり	＜安全・安心＞ 安全・安心に満たされた学校づくり	＜挑戦する勇氣＞ 未来に向けてチャレンジする勇氣を育む学校づくり	＜改革精神＞ 未来を生き抜くための新たな教育環境づくり
----------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	--------------------------------



文部科学省 外務省（総領事館）	商工会議所 子弟教育会	家庭	日系協会・日系社会 ブラジル社会
--------------------	----------------	----	---------------------